



# ESP-LXIVM シリーズコントローラー

## フィールドデバイス設置ガイド



**IVM-OUT (出カデバイス)**  
IVM-OUT 2 線式制御デバイスは、DC ラッチ型電磁弁を使用したバルブの制御に使用できます。

- 1 IVM-OUT の赤い線と黒い線を 2 線式経路に接続します。
- 2 IVM-OUT の赤と白のストライプの線を、DC ラッチ型電磁弁の赤い線に接続します。IVM-OUT の黒と白のストライプの線を、DC ラッチ型電磁弁の黒い線に接続します。
- 3 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1 メートルほど余裕を持たせておきます。

**注意:** DC ラッチ型電磁弁が他社製のバルブと互換性があることを確認してください。詳しくは、バルブのメーカーにお問い合わせください。

**注意**  
IVM-OUT と負荷（電磁弁など）との間の合線長は最大約 120 センチです。IVM-OUT の配線（約 60 センチ）、電磁弁の配線（約 56 センチ）も含まれます。  
2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。

1 バルブボックス  
2 IVM-OUT  
3 他社製 DC ラッチ電磁弁付きバルブ  
2 線式ケーブル  
標準的な IVM-OUT の配線  
ケーブルは 1m ほど余裕を持たせる

ESP-LXIVM シリーズコントローラー 11

## 規制情報

### 連邦通信委員会

供給者適合宣言

47 CFR § 2.1077 コンプライアンス情報

個別識別子:

ESPLXIVM、ESPLXIVMP、LXIVMFP、LXIVMPFP、LXIVMSOL、LXIVM  
OUT、  
LXIVMSEN、LXIVMSD

責任者 - 米国連絡先情報

Rain Bird Corporation  
9491 Ridgehaven Court  
San Diego, CA 92123 USA

www.rainbird.com

#### FCC コンプライアンスステートメント

この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は以下の 2 つの条件を満たす必要があります。(1) この装置が有害な干渉を引き起こさないこと、(2) 望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、この装置が受信したすべての干渉を受け入れること。

注意:この装置は、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、住宅用設備において有害な干渉から正当に保護するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、指示に従わずに設置、使用すると、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合(装置の電源を切ったり入れたりすることで判断できる)、ユーザーは以下の手段に沿って干渉を修正するよう試みるのが推奨されます。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談する。

#### IC カナダステートメント

このクラス B 装置は、カナダ ISED (旧IC) 規制、CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B) のすべての要件に適合しています。

Cet appareil de classe B respecte toutes les exigences de la réglementation canadienne ISED (anciennement IC)- CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B).

#### 電気・電子機器廃棄物 (WEEE)



ハードウェアメーカーとして、Rain Bird は、Rain Bird が輸入業者である国々で登録することにより、EU WEEE 指令に対する国内義務を果たしています。Rain Bird はまた、一部の国で WEEE コンプライアンス制度に参加することを選択し、使用終了後の顧客からの返品を管理するのに貢献しています。

## 認証

- cULus、CE、NOM、RCM、IRAM、INMETRO、NRCS、SABS、KC



## 適合宣言

Rain Bird Corporation は、以下の灌漑コントローラーおよび付属品が CE に準拠していることを宣言します。

**IESPLXIVM, IESPLXIVMP, ILXIVMEU, ILXIVMEU, LXIVMSOL, LXIVMOUT, LXIVMSEN, LXIVMSD, LXIVMPFP\*, LXIVMFP\*, and LXIVM2WVMOD\***

(\*別売りのスペアパーツ - コントローラー IESPLXIVM に準拠して入手したもの)

この適合宣言は、製造メーカーの独自の責任において発行するものです。上記宣言の目的は、関連する EU 整合法令に準拠しており、使用される関連整合基準および宣言の対象となる準拠に関する技術仕様の参照先を以下に記載します。

EMC (電磁両立性) 指令 2014/30/EU

- EN 55014-1:2006 + A2:2011
- EN 55014-2:1997 + A1:2001 + A2:2008

LVD (低電圧) 指令 2014/35/EU

- EN 60335-1:2012 + AC:2014 + A11:2014 + A13:2017 次を含む
- IEC 60335-1:2010, EN 62233:2008 + AC:2008
- IEC 60335-1 Edition 5.2: 2010 +A1: 2013 +A2:

RoHS 指令 2011/65/EU の特定有害物質の使用制限に関する規制 2016

- EN 50581:2012

所在地: カリフォルニア州サンディエゴ

署名:

氏名:

Roger S. Neitzel

役職:

プラント & プログラムマネージャー

日付:

2020年1月8日

### Rain Bird Corporation

970 W. Sierra Madre Ave.  
Azusa, California 91702, USA  
電話: (626) 812 -3400  
Fax: (626) 812-3411

### Rain Bird International, Inc.

1000 West Sierra Madre Ave.  
Azusa, CA 91702, USA  
電話: (626) 963 -9311  
Fax: (626) 852-7343

### Rain Bird Europe

240 Rue René Descartes – Le Clamar Bât. A  
13290 Aix En Provence, France  
電話: (33) 4 42 24 44 61  
Fax: (33) 4 42 24 24 72

© 2020 Rain Bird Corporation

® Registered Trademark of Rain Bird Corporation

P/N: 690865-01 REV. 08JA20

## 安全に関する情報

### ▲ 警告

バルブの配線（ステーションまたは電磁弁の配線）が、景観照明、その他の「低電圧」システム、その他の「高電圧」電力に使用される他の配線に隣接して配置されたり、配線用パイプを共有したりする場合は、特別な注意を払う必要があります。

設置の際、電線の絶縁体を傷つけないように注意しながら、すべての導線を分離し、絶縁してください。バルブの配線と他の電源が電氣的に「ショート」（接触）すると、コントローラーが損傷し、火災の原因になることがあります。

電気配線の接続や配線の配置はすべて、適用される建築基準法に遵守して行う必要があります。地域によっては、免許や資格のある電気工事士以外の電源の設置を禁じているところもあります。コントローラーの取り付けは、専門の担当者以外には行わないでください。お住まいの地域の建築基準法をご確認ください。

### ▲ 注記

この装置は、(小児を含め) 身体的・感覚的・精神的能力の低い人や経験・知識が欠如している人による使用について、その人の安全を守る立場にある人物による監督下・指導下で使用されない限り、想定されていません。小児がこの装置で決して遊ばないように監視して下さい。監視が付いていない子供に清掃やユーザーによるメンテナンスをさせないでください。

ILXIVMAU や ILXIVMAUP の電源コードが破損した場合は、危険を避けるため、製造元、サービス代理店または同等の資格を持つ人が交換する必要があります。

交換には以下を使用してください。  
フレキシブル電源コード H05VVF、  
最小電線サイズ 0.75mm<sup>2</sup>  
(18 AWG)。  
直接配線用：  
最小配線サイズは 0.75 mm<sup>2</sup>  
(18 AWG) です。

電源コードが付属していないコントローラーの場合、固定設置には過電圧カテゴリ III の保護に適した 3 極すべての断路器が必要です。

### 注意

Rain Bird が承認した付属品のみを使用してください。Rain Bird が明示的に承認していない変更や改造を行うと、装置を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。未承認のデバイスは、コントローラーを損傷し、保証が無効になるおそれがあります。対応デバイスの一覧はこちら：[www.rainbird.com](http://www.rainbird.com)

コントローラーの日付と時刻は、長寿命のリチウム電池によって保持されています。電池は、地域で定められたルールに沿って処分してください。

スイングパネル裏面にモデル、シリアルナンバー、供給速度、製作年月日を記載。

電源 (120V の国)  
入力: 120 VAC 60 Hz 0.5A  
出力: 26.5 VAC 60 Hz 1.9A



## ESP-LXIVM シリーズコントローラー

### フィールドデバイス設置ガイド

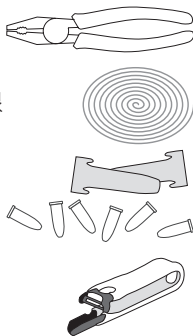
<b>2 線式デバイス屋外での接続</b> .....	<b>6</b>
設置用工具の準備 .....	6
配線接続 .....	6
直接配線による屋外での設置 .....	6
屋外での配線接続 .....	7
デバイスを 2 線式経路に接続します。 .....	7
設置 .....	8
2 線式アドレスラベル .....	8
IVM-SOL の設置 .....	9
IVM-SOL とバルブの接続 .....	10
IVM-SOL とマスターバルブの接続 .....	10
IVM-OUT (出力デバイス) .....	11
IVM-SEN (センサーデバイス) .....	12
ウェザーセンサーの接続 .....	12
IVM-SD (サージデバイス) .....	13
ポンプ起動リレー .....	14
フィールドデバイスの 2 線式配線 (MAXI ケーブル) の接続 .....	15
ローカルウェザーセンサーの接続 .....	15

## 2 線式デバイス屋外での接続

### 設置用工具の準備

設置を開始する前に、以下の工具と資材を準備してください。

- ペンチ
- 14 ゲージ MAXI ケーブル裸アース線
- WC20 防水配線コネクターとワイヤーナット (同梱)
- Rain Bird® 2 線式ストリッパー



### 配線接続

#### 直接配線による屋外での設置

#### ▲ 警告

感電すると、重傷または死亡の原因となることがあります。電源がオフになっていることを確認してから、電源線を接続してください。

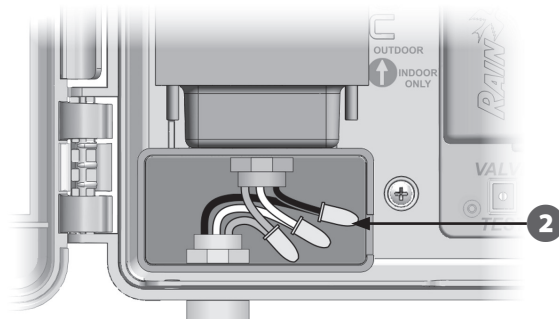
サージ保護のため、必ずアース線を接続してください。取り付けが完了した配線用パイプはメインの電源をコントローラーに接続するのに使用します。

バルブ用配線を電源用配線と同じ開口部に通さないでください。

### 配線接続

120 VAC (米国)	230 VAC (国際)
黒の電源用配線 (ホット) → 黒の変圧器用配線	茶の電源用配線 (ホット) → 茶の変圧器用配線
白の電源用配線 (ニュートラル) → 白の変圧器用配線	青の電源用配線 (ニュートラル) → 青の変圧器用配線
緑の電源用配線 (アース) → 緑の変圧器用配線	緑に黄色ストライプの電源用配線 (アース) → 緑に黄色ストライプの変圧器用配線

- ① ユニット底部の配線用パイプ開口部から配線コンパートメントに 3 本の電源用配線を通します。
- ② 同梱のワイヤーナットを使って外部電源用配線 (電源 2 本、アース 1 本) を配線コンパートメント内の変圧器用配線に接続します。




## 屋外での配線接続

デバイスを 2 線式経路に接続します。

内側の絶縁体を傷つけずに MAXI ケーブルのシースを剥がすには、Rain Bird の 2 線式ストリッパーツールを使うことをおすすめします。




 注意: 配線を傷つけないように、シースを剥がす際はユーティリティナイフ、ポケットナイフ、カーペットナイフ、ボックスカッターナイフ、ワイヤーストリッパーなどの工具は使用しないでください。

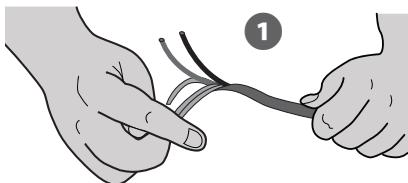
### 注意

Rain Bird 製品では、14 ゲージの AWG MAXI ケーブル (ダブルシース、2 芯線) を使用してください。

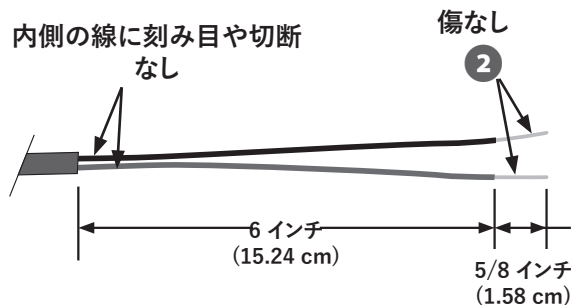
2 線式デバイスと接続部はバルブボックスの中に入れてください。配線の銅線を設置後に露出させないようにしてください。

**1** AWG MAXI ケーブルの外側のシースの 15 センチほどの所に注意深く刻み目を付けます。ケーブルをそっと曲げて取り外す部分を露出させ、内側の線 2 本を出します。シースの余分な部分を切り取ります。

 注意: シースを 2 か所以上剥がす必要が生じることがあります。



**2** 内側の 2 本の電線の端から約 1.6 センチのあたりで絶縁体を剥がします。



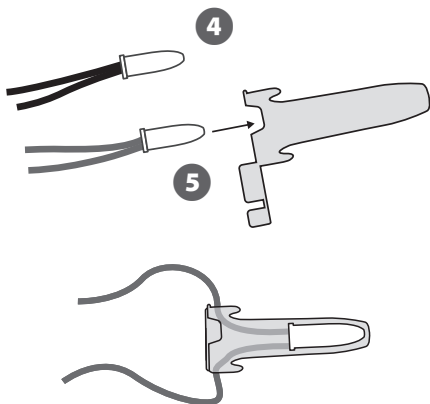
**3** 2 線式デバイスの配線の先端部分から、あらかじめ切れ目を入れた絶縁体を剥がします。ペンチを使って配線の先端をねじり、デバイスの配線を 2 線式経路に接続します。



### 注意

配線を接続する際、同じ極同士をつなぐために、必ず赤は赤と、黒は黒と接続してください。

- 4 接続した配線を付属のワイヤーナットにワイヤーをしっかりと差し込みます。
- 5 ワイヤーナットを WC20 コネクターの奥まで差し込みます。配線を図のようにコネクターの中に入れ、キャップをカチッと閉めます。



配線の接続完了


QRコードをスキャンして  
2線式ケーブルの接続  
方法を紹介する動画をご  
覧ください。



## 設置


### 2線式アドレスラベル

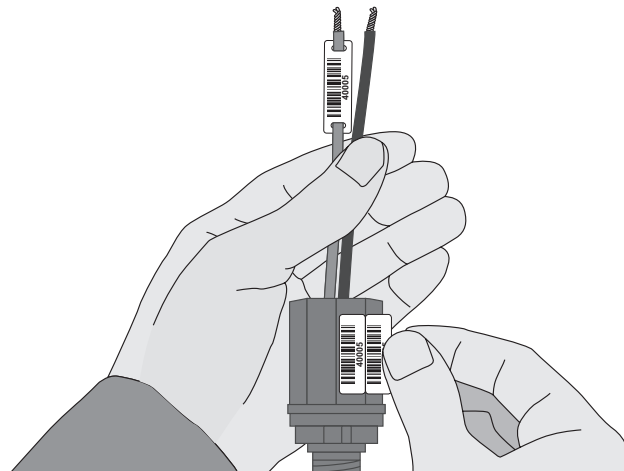
2線式デバイスを設置する前に、プログラミングガイドの該当する欄に2線式デバイスのバーコードラベルを貼ります。

 注意:コントローラーに付属の ESP-LXIVM プログラミングガイドを参照してください。

① ステーション、マスターバルブ、流量センサー、ウェザーセンサーデバイスのバーコードラベルを慎重にはがします。

② プログラミングガイドの該当する欄に2線式デバイスのアドレスラベルを貼ります。

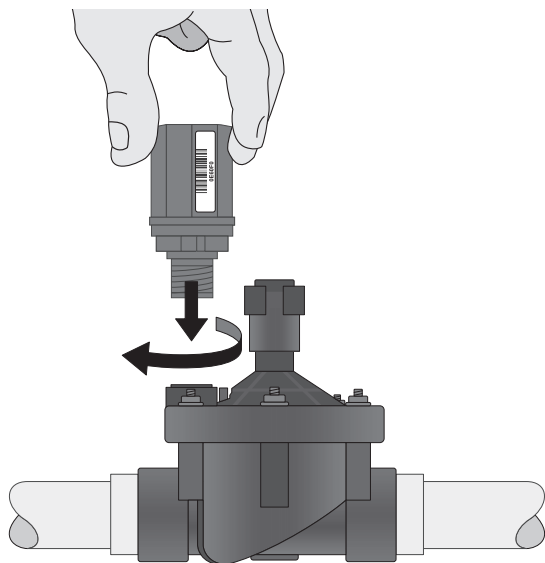
 注意:配線に付いているキャリアからラベルを剥がさないでください。






## IVM-SOL の設置

- ① エアスプレーで器材からゴミなどを落とします。
- ② Oリングが破損したりゴミが付いたりしていないか確認します。
- ③ IVM-SOL をしっかりと取り付けます (水圧なしで)。



 注意:IVM-SOL をバルブに取り付ける際に、短くカチカチと音が聞こえるのは正常です。

## IVM-SOL とバルブの接続

- 1 IVM-SOL の赤い線と黒い線を 2 線式経路に接続します。
- 2 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1メートルほど余裕を持たせておきます。



注意:バルブが 2 線式経路の終端でない場合は、3 又の接続部を作成します。バルブモジュールの赤い配線は 2 線式経路の 2 本の赤い配線に接続します。バルブモジュールの黒い配線は 2 本の黒い配線に接続します。

### 注意

2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。

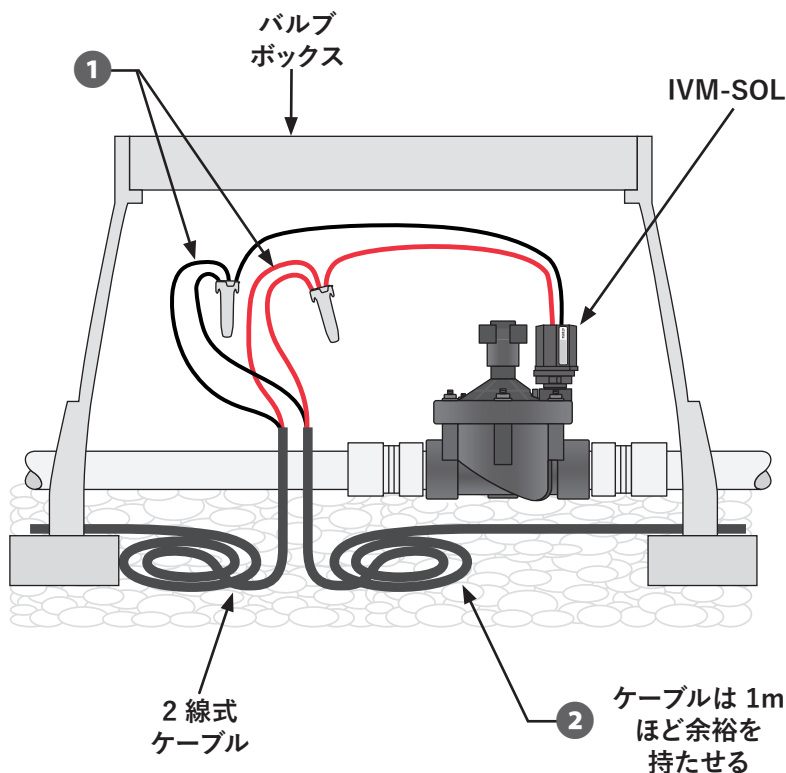
## IVM-SOL とマスターバルブの接続

ESP-LXIVM コントローラーの 2 線式経路には最大 5 台、LX-IVM Pro コントローラーには最大 10 台のマスターバルブを接続できます。IVM-SOL は、ステーションバルブ、マスターバルブのいずれにも使用できます。マスターバルブの接続方法は前述の手順と同じです。



注意:ステーションではなく、マスターバルブとしてプログラミングガイドにバーコードラベルを貼り付けてください。

注意
後付けする場合は、ESP-LXIVM システムに TBOS (バッテリー駆動システム) 電磁弁やデコーダーを使用しないでください。
すべてのデコーダーを 2 線式経路から外してください。



標準的な IVM-SOL バルブの配線

## IVM-OUT (出力デバイス)

IVM-OUT 2 線式制御デバイスは、DC ラッチ型電磁弁を使用したバルブの制御に使用できます。

- 1 IVM-OUT の赤い線と黒い線を 2 線式経路に接続します。
- 2 IVM-OUT の赤と白のストライプの線を、DC ラッチ型電磁弁の赤い線に接続します。IVM-OUT の黒と白のストライプの線を、DC ラッチ型電磁弁の黒い線に接続します。
- 3 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1 メートルほど余裕を持たせておきます。

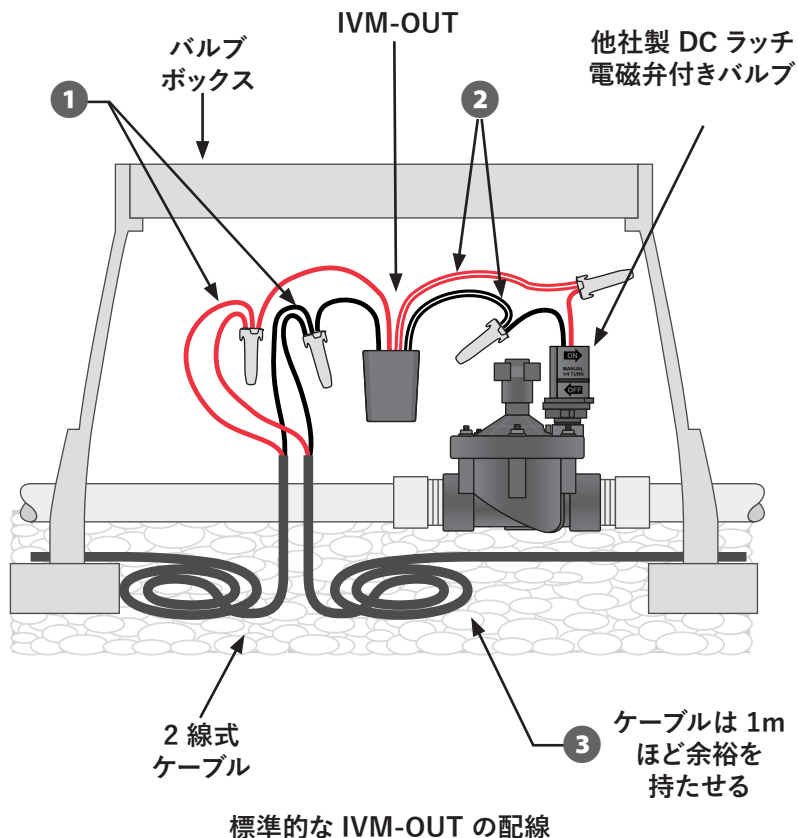


注意: DC ラッチ型電磁弁が他社製のバルブと互換性があることを確認してください。詳しくは、バルブのメーカーにお問い合わせください。

### 注意

IVM-OUT と負荷 (電磁弁など) との間の合計線長は最長約 120 センチです。IVM-OUT の配線 (約 60 センチ)、電磁弁の配線 (約 56 センチ) も含まれます。

2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。



## IVM-SEN (センサーデバイス)

流量センサーは、IVM-SEN 2 線式デバイスで 2 線式経路に接続します。

ESP-LXIVM コントローラーは最大 5 台、  
LX-IVM Pro コントローラーは最大 10 台  
の流量センサーを接続できます。

### 流量センサーの接続

- 1 流量センサーを灌漑パイプシステムに設置する際は、水道メーターやポンプなど、水道に接続する各ポイントに設置します。

### 注意

最適な動作と流量検知のために、流量センサーの設置位置は、上流側（給水側）では管径の 10 倍以上の長さを、下流側（排水側）では 5 倍以上の長さを確保する必要があります。配管サイズや方向を変更したり、マスターバルブから離したりする前に設置します。

- 2 IVM-SEN の赤い線と黒い線を 2 線式経路に接続します。
- 3 IVM-SEN の赤と白のストライプの線を、流量センサーの赤い線に接続します。  
IVM-SEN の黒と白のストライプの線を、流量センサーの黒い線に接続します。

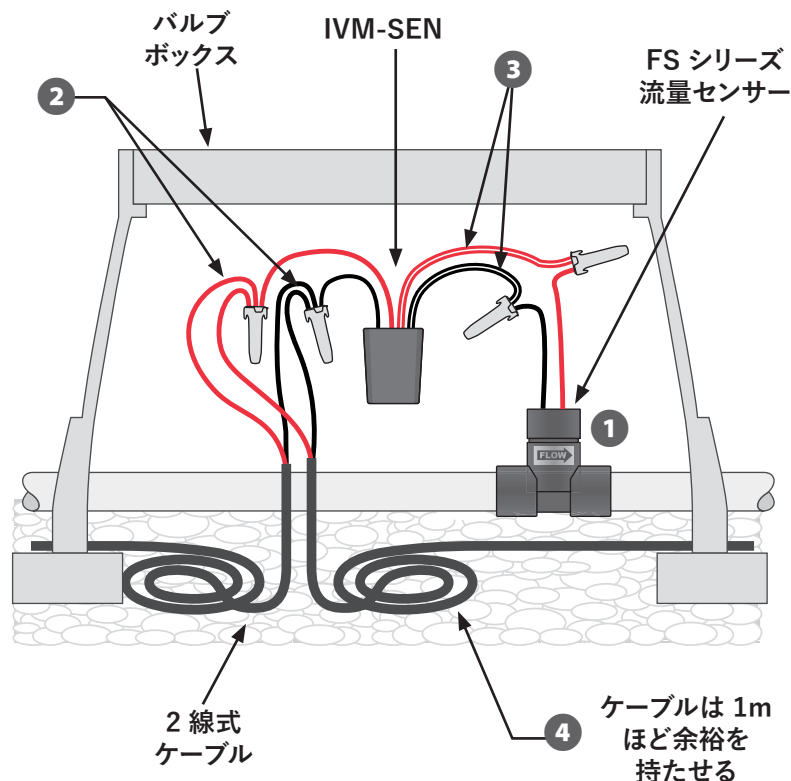


注意: 流量センサーに同梱の説明書に必ず従ってください。

- 4 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1 メートルほど余裕を持たせておきます。

### 注意

2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。



標準的な IVM-SEN 流量センサーの配線

### ウェザーセンサーの接続

LX-IVM は、流量センサーに加えて、IVM-SEN デバイスで 3 台のウェザーセンサーを 2 線式経路に接続できます。LX-IVM Pro コントローラーは、7 台の 2 線式ウェザーセンサーを接続できます。ウェザーセンサーは、流量センサーと同様に LX-IVM センサーの入力に接続します。

## IVM-SD (サージデバイス)

IVM-SD は ESP-LXIVM コントローラーと 2 線式経路をサージから保護します。

ESP-LXIVM コントローラーと 2 線式経路は、正しくサージ保護、接地してください。そうすることで、コントローラーや灌漑システムの損傷を防ぎ、トラブルシューティング、修理時間、費用を大幅に削減することができます。サージ保護や接地を行わないと、コントローラーが故障したり、保証が無効になったりすることがあります。

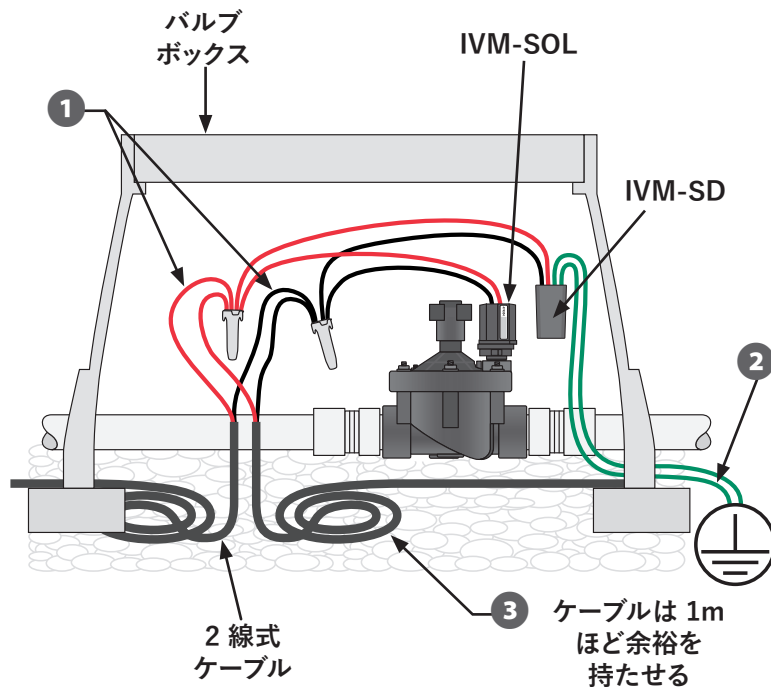
- 1 IVM-SD の赤い線と黒い線を 2 線式経路に接続します
- 2 IVM-SD の緑色の配線をアース棒またはアース板に接続します
- 3 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1 メートルほど余裕を持たせておきます。

### 注意

2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。

150 メートルまたはフィールドデバイス 15 台ごとに 1 台の IVM-SD を設置します。

IVM-SD はコントローラーのすぐ横および各配線経路の終端部で 2 線式経路に接続することもできます。



## ポンプ起動リレー

IVM-OUT 2 線式制御デバイスは、DC ラッチ型入力コイルを備えたポンプ起動リレーを制御できます。

- 1 IVM-OUT の赤い線を 2 線式経路の赤い線に接続します。次に、IVM-OUT の黒い線を 2 線式経路の黒い線に接続します。
- 2 IVM-OUT の赤い線を DC ラッチ型リレーの赤い線に接続します。IVM-OUT の黒と白の線を DC ラッチ型リレーの黒い線に接続します。
- 3 ポンプ起動リレーの配線手順に従って、入力電源とポンプを接続します。
- 4 今後、修理や改修するときのために、各バルブボックスに保管する 2 線式ケーブルは 1 メートルほど余裕を持たせておきます。

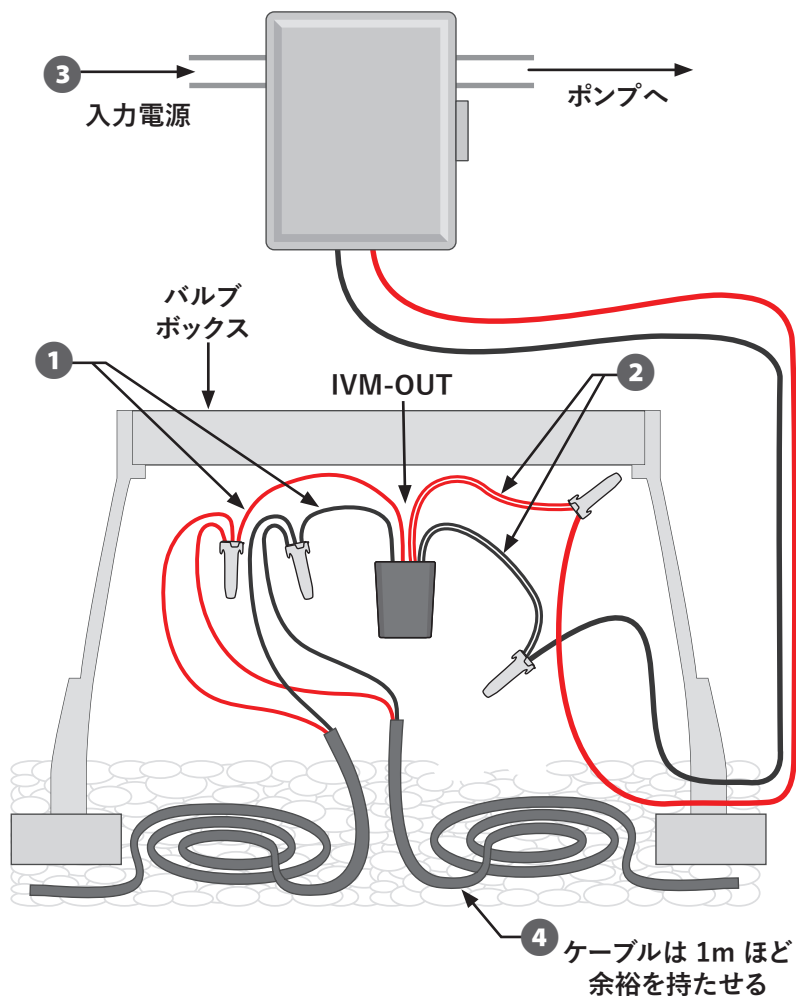
### 注意

2 線式経路はすべて、WC20 接続キットで接続します。不適切な配線は、コントローラーや灌漑システムに重大な損傷を与える可能性があります。配線は必ず、資格を有する電気工事が行ってください。

### 警告

電気配線の接続や配線の配置はすべて、適用される建築基準法に遵守して行う必要があります。地域によっては、免許や資格のある電気工事士以外の電源の設置を禁じているところもあります。コントローラーの取り付けは、専門の担当者以外には行わないでください。お住まいの地域の建築基準法をご確認ください。


DC ラッチリレーによるポンプ起動  
モデル番号 PSR110-IVM と PSR220-IVM




標準的な IVM-OUT ポンプ起動リレーの配線

## フィールドデバイスの 2 線式配線 (MAXI ケーブル) の接続

フィールドデバイスから ESP-LXIVM コントローラーへは、最大 4 組の 2 線式 (MAXI ケーブル) を接続できます。


 注意: すべてのネジを完全に緩めたことを確認します。モジュールからは外さないでください。

- 1 MAXI ケーブルの赤い線を「R」と記されたターミナルに接続します。
- 2 MAXI ケーブルの黒い線を「B」と記されたターミナルに接続します。
- 3 ネジを締めます。

 注意: 4 組の配線は、星形パターンかループパターンで接続できます。詳細は、ESP-LXIVM ユーザーマニュアルの「2 線式経路の概要」を参照してください。

## ローカルウェザーセンサーの接続


ESP-LXIVM は、コントローラーに直接配線された 1 台のウェザーセンサーからの入力も受信できます。

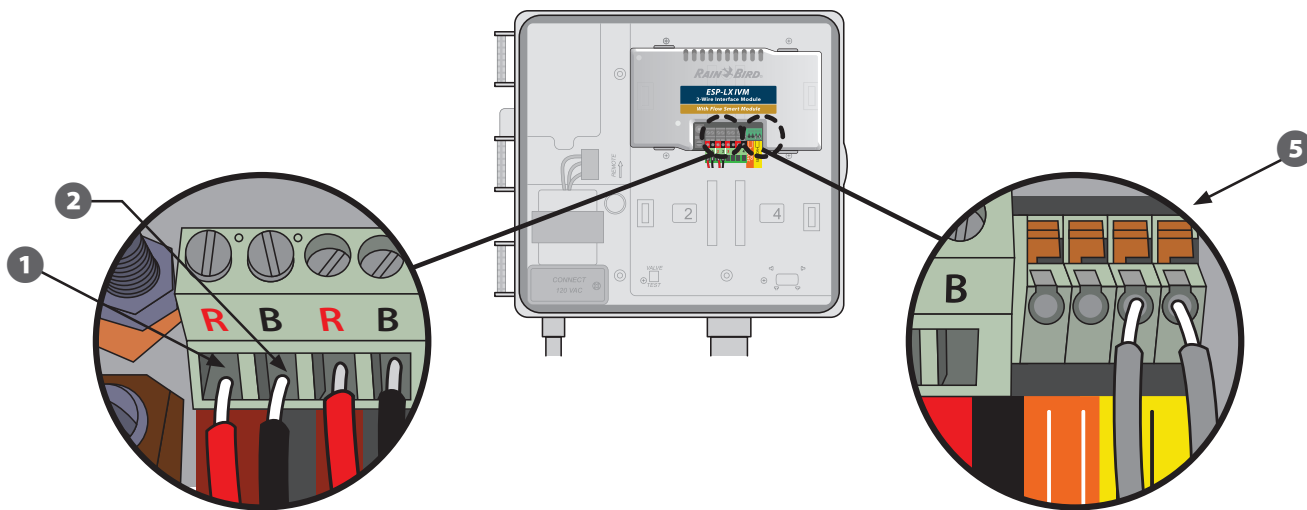
 注意: センサーのメーカーの説明書に従って、センサーを正しく設置、配線してください。

- 4 ウェザーセンサーから ESP-LXIVM コントローラーまで、切れ目なくセンサーの配線を引きます。
- 5 黄色のジャンパー線があれば外します。センサーの配線をセンサー入力 (Sen) と一般入力 (C) に接続します。

### 注意

レインセンサーを接続しない場合は、黄色のジャンパー線は外さないでください。

 注意: コントローラーと灌漑プログラムの設定が、お使いのセンサーに正しく設定されていることを確認してください。





**Rain Bird Corporation**  
6991 East Southpoint Road  
Tucson, AZ 85756  
USA  
Tel:(520) 741-6100

**Rain Bird Corporation**  
970 W. Sierra Madre Ave.  
Azusa, CA 91702  
USA  
Tel:(626) 812-3400

**Rain Bird International**  
1000 W. Sierra Madre Ave.  
Azusa, CA 91702  
USA  
Tel: +1 (626) 963-9311

**Rain Bird Turkey**  
Çamlık Mh.Dinç Sokak Sk.  
No.4 D:59-60  
34760 Ümraniye, İstanbul  
TÜRKIYE  
Tel:(90) 216 443 75 23  
rbt@rainbird.eu  
www.rainbird.com.tr

**Rain Bird Europe SNC**  
**Rain Bird France SNC**  
240 rue René Descartes  
Bâtiment A, Parc Le Clamar  
BP 40072  
13792 AIX-EN-PROVENCE CEDEX 3  
FRANCE  
Tel:(33) 4 42 24 44 61  
rbe@rainbird.eu · www.rainbird.eu  
rbf@rainbird.eu · www.rainbird.fr

**Rain Bird Deutschland GmbH**  
Königstraße 10c  
70173 Stuttgart  
DEUTSCHLAND  
Tel: +49 (0) 711 222 54 158  
rbd@rainbird.eu

**Rain Bird Ibérica S.A.**  
C/ Valentín Beato, 22 2ª Izq.fdo  
28037 Madrid  
ESPAÑA  
Tel:(34) 91 632 48 10  
rbib@rainbird.eu · www.rainbird.es  
portugal@rainbird.eu  
www.rainbird.pt

**Rain Bird Australia Pty Ltd.**  
Unit 13, Level1  
85 Mt Derrimut Road  
PO Box 183  
Deer Park, VIC 3023  
Tel:1800 724 624  
info@rainbird.com.au  
www.rainbird.com/au

**Rain Bird Brasil Ltda.**  
Rua Marques Póvoa, 215  
Bairro Osvaldo Rezende  
Uberlândia, MG, Brasil  
CEP 38.400-438  
Tel:55 (34) 3221-8210  
www.rainbird.com.br

® 「Rain Bird」および「FloManager」は Rain Bird 社の登録商標です。

© 2020 Rain Bird Corporation P/N: 690715-01 Rev. 12/20

## テクニカルサポート

### 問い合わせ先

Rain Bird テクニカルサポート  
**1-866-544-1406**(通話料無料、ただし  
米国およびカナダのみ)

ESP-LXIVM ユーザーマニュアル  
(完全版)とトラブルシューティング情報  
[www.rainbird.com](http://www.rainbird.com)